

輝け！シン尾花沢中

第47号

令和8年

6月8日

伸びよとさそう 常若の ああ尾花沢中学校

貴重な体験をさせていただきました①～建設業作業体験会～

4日（木）に、徳良湖キャンプ場駐車場周辺を会場に建設業作業体験会が行われ、1・2年生が参加しました。これは、尾花沢の未来を担う子供たちが、除雪作業、道路建設、河川工事、災害対応などの暮らしに欠かすことのできない建設業をより身近に感じ、考える機会を創出する目的で行われたものです。今号では、1年生の振り返りを紹介します。

笹原さん：バックホウやダンプ、ドローンを操縦して今までにない良い体験になりました。また、実際に動かすことで新たな興味も生まれました。これからも乗り物について詳しく調べてもっと上手く操れるようになりたいと思いました。将来にこの経験を生かしていきたいとも思いました。

菅原さん：事前授業のとき「建設業は難しそうだなあ」と思っていたのですが、ドローンの操作やクレーン、除雪車などに乗って、少し興味がわいてきました。また、担当の方々と挨拶や会話を交わすことができ、常識を学ぶこともできました。将来について視野を広げ、さまざまな視点から自分の就きたい職業や考えを見つめ直したいです。

舟腰さん：いろいろな乗り物の操作ができていい体験になり、将来「建設作業の仕事をしてみたい」と思わせてくれました。建設に対して興味をもつことができました。これから「もっと勉強していきたい」と思いました。

加藤さん：カメラで撮影したり、皆で協力して着地させたりしたドローンの操作が一番楽しかったです。その他にも、自分でレバーやボタンなどを操作しとても楽しくいい体験学習でした。将来の夢を考えるうえで参考になりました。

清水さん：私は、普段触れることがない重機を操作できたことが特に心に残っています。クレーンゲームみたいな感じで操作しましたがとても難しく、たいへんでした。こんなに困難なことをこなすことのできる建設業の人たちに驚きを隠せませんでした。

木戸さん：初めて建設作業に参加して、重機操作体験が心に残りました。実際に操作してみるとハンドルなどがたくさんあり、途中でどこを操作すればよいか分からなくなるときもありました。体験後に、建設業の人たちは何度も練習して手慣れた動きができていたこと知りました。また、中学校での楽しい思い出ができました。



次号では、2年生の振り返りを紹介します。

【文責：校長 工藤雅史】